

【自由意見などへの回答（安城まちづくりセンター）】

Q. 不登校児童・生徒数の把握ができていないのではないか。

A. 現在、不登校児童・生徒への対応について所管事務調査を行っています。その中で、対象者数及びその方法について、正確な現状把握を行います。

Q. 部活動の選択肢が少ない。

A. 部活動においては地域移行が検討され始めています。受け皿づくりが急務ですが、指導者に対する報酬や安全の確保など課題は多いです。国や県の動向も注視しながら、部活動の選択肢の提供を含めた環境改善が図られるよう働きかけます。

Q. 学校教育でも神楽に触れる機会提供を

A. 神楽は地域の重要な資産であると考えます。地域文化への理解が深まる教育機会の提供を引き続き求めます。

Q. 島根県東部と西部の福祉に対する温度差が全く違う。

A. 実態把握を含め調査してまいります。

Q. サロン活動も人数が少なくなって、今後どうなるか心配。

A. サロン活動を継続するために必要な支援について、担当部局とも連携しながら研究してまいります。

Q. サロンに参加しない人への支援が必要。

A. 集いの場に参加されない方への支援について、官民協働の取組が必要と考えますので、調査・研究してまいります。

Q. 産業全般における人手不足、担い手不足に対する若者対策のうち、地元就職対策は。

A. 浜田市においては市内の高等学校に対し、雇用推進協議会などと連携して地元企業への就職支援が行われています。また、島根県立大学では卒業後県内就職につながるよう県内高校からの入学者の増加を図る「入試制度改革」を実施されたところです。

Q. 産業全般における人手不足、担い手不足に対する若者対策のうち、UI ターン対策は。

A. 都会地に暮らす方を対象とした相談会や仕事体験ツアー、ウェブサイト「働こう@はまだ」による地元企業の魅力発信など、若者の移住・定住につながる支援が行われています。また、県においても県外流出の抑制に力を入れておられます。産業建設委員会では上記の状況を踏まえ、人手不足・担い手不足に対して調査するとともに、機会を捉え委員会代表質問などで積極的に働きかけてまいります。

Q. 米価の低さ・米離れについて

A. 産業建設委員会内や一般質問等で取り上げてまいります。

※他の会場への回答は市議会ホームページに掲載しています ⇒



【お問合せ先】 浜田市議会事務局 0855-25-9800